

事後評価シート

コード 6-2-7	事務事業名 高齢者福祉施設維持管理事業	所管部課 保健福祉部高齢者支援課
--------------	------------------------	---------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 福祉会館・老人福祉センター・老人憩いの家(全7施設)で高齢者の生きがいと健康づくりの増進・生活向上に寄与するため施設管理の維持・向上を図る。		事業の区分 <input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 行革項目 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事務事業	
	実施内容、実施方法 施設は嘱託職員1名、シルバー人材センター派遣職員3名(ローテーション)により運営をしている。民間業者に施設管理、シルバー人材センターに施設清掃を委託している。		根拠法令等 老人福祉法第15条	
	事業開始時期	昭和 46 年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

評価指標の設定	活動指標名 開館日数	活動指標の考え方(定義) 各会館の年間の開館延べ日数			
	修繕件数	会館の修繕総件数			
	成果指標名 1次 自主サークル件数	成果指標の考え方(定義) 1次 施設を利用して活動して自主サークルの数			
	1次 入浴利用者数	1次 施設内の浴場を利用した人数			
	2次	2次			

		単位	15年度	16年度	17年度	18年度
事務事業データ	事業費(A)		157,979	157,044	171,786	178,284
	国庫支出金	千円				
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		157,979	157,044	171,786	178,284
	所要人員(B)	人	0.4	0.4	0.4	0.4
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	2,801	2,801	2,801	2,801
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	160,780	159,845	174,587	181,085
	単位当たりコスト (E)=(D)/(開館日数)	千円	545	544	592	#DIV/0!
歳入	千円					
活動指標	目標値	日			295	295
	実績値	日	295	294	295	
活動指標	目標値	件			80	88
	実績値	件	78	80	88	
1次成果指標	目標値	サークル			360	380
	実績値	サークル	320	345	360	
1次成果指標	目標値	人			52,000	52,000
	実績値	人	53,249	52,307	51,869	
2次成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	嘱託職員やシルバー人材の派遣職員でなく、正規な職員を配置すること。
	26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	職員体制、委託状況、建物規模、清掃の回数(作業員の常駐等) 福祉施設の個数、機械等違うため比較算出不可
	運営上の制約条件・外部要因等	管理運営は、概ね嘱託職員1名・シルバー人材センター職員3名のローテーション形式で勤務にあたっているが、利用者から昨日の人と話がしたい……の対処に苦慮する。

コード 6-2-7	事務事業名 高齢者福祉施設維持管理事業	所管部課 保健福祉部高齢者支援課
--------------	------------------------	---------------------

【事業所管部評価】

検証項目	選択基準	ランク	選択理由、特記事項等
1 目的の適切さ・目標	目的の妥当性 2 上位施策と目的が一部合致しているが、施策に対する貢献度は他の事業と比較して低い	▼	高齢者の就業意欲・働く場として継続実施が必要
	目標の妥当性 2 目標を定量的に設定できないが、定性的には設定している	▼	
	緊急性 4 今後しばらくの間、少しずつでも継続して実施する必要がある	▼	
2 市が関与する必要性	法的義務性 1 法律・条例・要綱・要領等で実施が規定されていない	▼	施設維持・管理運営は法等で規定されたく指定管理者制度の導入も可
	必要性 2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	▼	
	民間との役割分担 2 民間団体が同種のサービスを提供しているが、質・量共に下回っている	▼	
3 内容の適切さ	ニーズ 4 市民(庁内)ニーズが明確に把握できており、サービスが不足している	▼	老人福祉センターの管理運営は平成18年度に見直しをした。
	規模・方法の妥当性 4 事業規模や方法は、対象者等の具体的なニーズに基づき数年おきに見直している	▼	
	公平性 3 直接の対象は、特定属性の特定多数の市民または団体が対象である	▼	
4 実施手続の適切さ	有効性 2 現在、質・水準の改善に取り組んでいるが、成果の向上はあまり期待できない	▼	シルバー人材センターは、概ね60歳以上ということで高齢化になってきている。
	効率性 4 既に他の実施主体を全面的に活用し、コスト低減に取り組んでいる	▼	
	独自性 2 庁内に同種の目的を有する(類似・重複を含む)他の事務事業がある	▼	
合計		32	

	評価結果	判断理由、説明等
総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>高齢者人口が増加している中、高齢者福祉施設が求められているため、継続して実施していくことが望ましい。事務所の職員体制について、嘱託職員が週4日勤務・シルバー職員3名が週2日～3日勤務のため、引継ぎ事務、利用者の方々との調整に難がある。</p>

18年度における改善点	<p>老人福祉センターの管理について、17年度は、嘱託職員4名、シルバー人材センター職員2名、臨時職員1名で管理運営していたが18年度は、事業の効率性を考慮し、嘱託職員4名、臨時職員2名の体制に変更した。</p>
-------------	--

	評価結果	判断理由、説明等
二次評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>コスト削減の取り組みとして、18年度に保谷こもれびホールに関して試行的に実施した施設維持管理経費調査の成果を踏まえ、活用することも有効と思われるので検討されたい。</p> <p>また、施設の有効利用として、高齢者のみならず一般市民からも要望がある夜間・休日の開館について及び利用者負担の徴収の導入が可能な施設についてはあわせて検討されたい。</p> <p>さらに、施設運営の総合的な効率化、利用者満足の向上をめざして、「指定管理者制度」の導入も検討できるものと考えます。</p>

	評価結果	判断理由、説明等
行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>二次評価記載のとおり、コスト削減の取り組みとして、18年度に保谷こもれびホールに関して試行的に実施した施設維持管理経費調査の成果を踏まえ、活用することも有効と思われるので検討されたい。</p> <p>また、施設の運営管理については、総合福祉センターや福祉会館等が複合施設であるものの、業務委託方式などのアウトソーシングの検討を進められたい。</p>